

3M Architectural Markets

Product Bulletin

取扱説明書

3 M™ ダイノック ™ フィルム

AR シリーズ

【貼付施工】

基本的な貼付施工方法は3M™ ダイノック ™ フィルムに準じます。(3M™ ダイノック ™ フィルム見本帳「Product Information」参照)

【注意事項】

基本的な注意事項は3M™ダイノック™フィルムに準じます。(3M™ダイノック™フィルム見本帳「Product Information」参照)

● 製品に関する注意事項

本製品は屋内専用です。屋外で使用しないでください。

製品の表面は砥粒のような細かい粒に覆われていますので、物が接触すると表面を削り取り損傷を与えることがあります。

耐摩耗性を向上した製品ですが、刃物など鋭利なものや強い衝撃では傷がつく場合があります。

フィルム表面に爪やスキージーなどが擦れると、付着した汚れが白い傷のように見える場合があります。水拭きすることで汚れを清掃することが可能です。

見る角度や光の当たり方によっては柄のようなものが見える場合があります。

● 貼付に関する注意事項

貼り付け温度範囲は12℃~38℃です。

貼り付け作業前に作業場所周辺の床を清掃するとともに、作業中にほこりが立たないように(作業場所周辺に霧吹きで水を撒くなど)してください。

フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキージーで圧着してください。

三次曲面に施工可能です。

折り曲げシロは6mm以上とってください。

AR シリーズの上に 3 M™ ダイノック ™ フィルムを重ね貼りする場合、120 番程度のサンドペーパーでフィルム表面を十分にサンディングしてから、3 M™ プライマーDP-900N3 を塗布してください。ただし、AR シリーズを眠り目地で重ね張りする場合、フィルムが剥離する可能性があります。

● 剥離に関する注意事項

製品の使用環境、期間、状態によってフィルムの基材との接着力が異なります。フィルムを基材から剥離すると きの剥離方法や状態によって粘着剤が基材側に残る場合があります。

フィルムを剥離する方法(3 M™ダイノック™フィルム見本帳「Product Information」参照)

- 下地を傷めないように注意しながらフィルムに幅 20 cm程度の切れ目を入れてください。
- 2. 家庭用へアドライヤーでフィルムをあたため、軟化させてください。
- 3. 切れ目を入れたフィルムを短冊状に剥がしていってください。
- 4. 剥がした後、下地に粘着剤が残る場合があります。残った粘着剤はシンナーもしくは 3 M™ クリーナー20、 3M™ クリーナー30 を使用して取り除いてください。取り除いた後も、下地によっては貼り跡が残る場合 があります。
- 5. 石膏ボード、ケイ酸カルシウム板、ベニヤ板等の下地に貼ったフィルムを、下地を傷つけずに剥離すること はできません。

【保管】

過度の湿気や直射日光を避け、周囲温度 38℃以下の清潔な場所に保管し、購入後1年以内にご使用ください。

【清掃/メンテナンス】

フィルム表面に爪やスキージーなどが擦れると、付着した汚れが白い傷のように見える場合があります。施工後 のフィルム表面の清掃はウエスのような柔らかいやわらかい布を用いて、乾拭き、水拭きまたは中性洗剤を使用 してください。

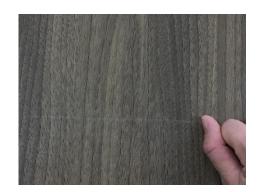






写真 1 爪が擦れて白い傷のように見える様子

写真2 柔らかい布で乾拭きし汚れがとれた様子

傷付きに強い製品ですが、表面の付着物によっては傷が付く可能性もありますので、乾拭きの際はご注意くださ い。硬い布や有機溶剤は表面を傷つけたり変質したりする場合があるので使用しないでください。

-2/2-

製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実 験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴 う危険と責任もすべて負うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。 本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り当社は責任を負いません。 3M、DI-NOC、ダイノックは、3M社の商標です。



ノーエム ジャパン株式会社

http://www.mmm.co.jp/cmd/

グラフィックス&アーキテクチュラルマーケット事業部